

めあて

日本の伝統芸能でもある日本舞踊を観る、体験することにより、興味・関心を深め伝統文化に親しもうとする心情を育てる。

対象：クラス単位・学年単位

対象

小学校全学年

中1

中2

日本舞踊



授業の流れ（基本プラン）
1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

実 演

講 話

体 験

質 問

実 演

- ◆実 演◆ ふじむすめ むすめどうじょうじ
「藤 娘」「娘 道成寺」など 《生の演技を観ることで魅力を感じさせる》
- ◆講 話◆ 日本舞踊の歴史、日本舞踊の小道具と表現方法
《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》
- ◆体 験◆ せんす めのさら
扇子、布晒し等の小道具に触れてみる
グループに分かれて「さくらさくら」を踊ってみる
《自由に触れる、表現することで日本舞踊に対する関心を高める》
- ◆質 問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましょう
- ◆実 演◆ 体験してから演技を観ることで日本舞踊への関心をさらに高める



講 話



実 演



体 験



日本舞踊とは・・・

日本の踊りである日本舞踊。
日本舞踊の「舞踊」とは明治時代に坪内逍遙と福地源一郎によって新しく作られた言葉で、日本の伝統的ダンスである「舞」と「踊り」を繋げた言葉です。

日本舞踊に必要な「扇子」を中心に簡単な歴史、小道具の話をしていきます。



☆実施校からの声☆

- ・日本舞踊は初めて目にする子どもたちばかりでしたが、扇子や布などをたくさん用意してくださって、全員が体験することができ、良い機会になりました。礼に始まり礼に終る伝統的な重みも感じていたようです。